

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	吉丸 尚宏
評価者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	山下 幸則

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策2	生涯スポーツの普及・振興	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	500,000 (R7)	424,295 (R2)	431,607 (R3)	A
施策3	競技スポーツの充実・強化	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)	人	20位台以内 (R3)	中止 (R2)	中止 (R3)	—

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性		
					(年度)	(年度)								
施策2	課題1	生涯スポーツの活動の推進	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	500,000 (R7)	424,295 (R2)	431,607 (R3)	1	いしかわ県民スポーツの日記念イベント開催事業	県民	4,000	1,750	A	継続
								2	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	8,000	4,245	A	継続
								3	いしかわスポーツマイレージ事業	県民	8,000	6,610	B	継続
								4	いしかわトップスポーツチーム地域貢献協働推進事業	県民	6,000	4,778	B	継続
施策3	課題1	競技力向上対策	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)	順位	20位台以内 (R3)	中止 (R2)	中止 (R3)	5	選手強化事業	強化指定選手	192,900	149,965	C	継続
			全国中学校体育大会・国民体育大会(少年種別)・全国高等学校総合体育大会における入賞数	入賞数	100 (R3)	中止 (R2)	82 (R3)	6	高校生強化事業	指定運動部	20,900	18,636	B	継続
								7	中学生強化事業	中学選抜選手	7,500	5,492	C	継続
			国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)	順位	20位台以内 (R3)	中止 (R2)	中止 (R3)	8	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,000	2,000	A	継続
			運動能力測定会参加人数	人	600 (R3)	294 (R2)	295 (R3)	9	いしかわジュニアアスリート発掘事業	小学生	2,400	2,953	B	継続
			県内企業へのアスリート就職者数	人	10 (R3)	5 (R2)	4 (R3)	10	いしかわアスリートキャリアサポート事業	県内就職希望者	480	40	C	継続
			障害者アスリート支援に係る補助申請件数	件	20 (R3)	7 (R2)	2 (R3)	11	障害者アスリート支援事業	障害者アスリート	2,000	46	B	継続

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわ県民スポーツの日記念イベント開催事業費	<b>事業開始年度</b>	R2	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課		
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川県スポーツ推進計画2021				<b>成 職・氏名</b>	専門員 芝田 和則	
							<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4376	

**事業の背景・目的**  
 ラグビーワールドカップの開催や、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズと、世界的なスポーツイベントが日本で続けて開催される。さらに、東京オリンピック・パラリンピックに出場する本県ゆかりの選手過去最多となるなど、県民のスポーツへの関心が高まっている。  
 本県では、平成3年の石川国体を契機に、平成4年から「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」を開催しており、毎年4月から翌年2月まで、延べ2万人を超える幅広い年齢層の県民が参加するスポーツの祭典として定着。  
 その総合開会式を開催する4月の第4日曜日を「いしかわ県民スポーツの日」に制定し、一年を通じてスポーツに親しむキックオフの日とする。そのスタートの日記念イベントを開催し、全県的な盛り上がりを図る。

**事業概要**  
 1 「いしかわ県民スポーツの日」記念イベント  
 期 日：令和3年4月25日(日)(4月第4日曜日)  
 会 場：いしかわ総合スポーツセンター  
 内 容：県ゆかりのアスリートによるトークショー  
         松本 薫さん、炎鵬関、坂下 麻衣子さん  
         スポーツ体験教室  
         なわとび(講師:元シルク・ドゥ・ソレイユ 田口 師永さん)、  
         ハンドボール(講師:北國銀行ハンドボール部)、  
         フットサル(講師:ヴァンセドール白山)、  
         トランポリン、ボッチャ、車いすバスケ、ブレイクダンス、ヨガ  
 参加者数:約1,200人

2 スポーツ施設の県民の個人利用の無料化  
 対象施設:県及び市町スポーツ施設(205施設)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興					<b>評価</b>	A
<b>課題</b>	生涯スポーツ活動の推進						
	<b>指標</b>	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)				<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	500,000	372,240	396,776	419,820	424,295	431,607	
事業費							
	<b>(単位:千円)</b>	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
<b>事業費</b>	<b>予算</b>				5,000	4,000	
	<b>決算</b>				1,730	1,750	
<b>一般財源</b>	<b>予算</b>				5,000	4,000	
	<b>決算</b>				1,730	1,750	
<b>事業費累計</b>			0	0	1,730	3,480	
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	A	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となった記念イベントおよびスポーツ交流教室を、令和3年度は感染防止対策を徹底した上で実施し、「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」のキックオフの日として盛り上がりを図ることができた。同交流大会全体の参加者数(7,312人)も令和2年度(4,475人)より増加し、県民の生涯スポーツ活動の促進に寄与した。 <スポーツの日記念イベント参加人数> R3:約700人(R2:中止、R1までの4年間は毎年約2千人)					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」の始まりを記念したイベントを開催することで、一年を通じてスポーツに親しむ機運の醸成を図るため、継続して開催する。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催 事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	第2期石川の教育振興基本計画		
		<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課		
		<b>成 職 ・ 氏 名</b>	主事 増井 しほ		
		<b>者 電 話 番 号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4377		

**事業の背景・目的**  
 本県では過去2回(2011年、2015年)、競技志向の高いシニア世代の祭典として日本スポーツマスターズ大会を開催し、生涯スポーツの振興に寄与した。日本スポーツマスターズ大会によって醸成された生涯スポーツの気運の高まりを継承し、本県の生涯スポーツの振興を図るとともに、広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実をめざす。

**事業の概要**

1	主 催	石川県
2	期 日	令和3年5月～6月(中心開催期間)
3	参加者数	約20,000名
4	内 容	

(1) 総合開会式および著名な講師によるスポーツ交流教室等※  
 (「いしかわ県民スポーツの日」記念イベントと併催)  
 期 日： 令和3年4月25日(日)  
 会 場： いしかわ総合スポーツセンター  
 参加団体： 種目団体、市町参加者  
 内 容： 開会宣言  
           大会長(知事)あいさつ  
           選手宣誓  
           (総合開会式終了後、記念イベント)  
           本県ゆかりのアスリートによるトークショー  
           オリンピック・パラリンピックの競技等の体験教室

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため総合開会式の式典は中止し、記念イベントのみ、感染防止対策をとって実施

(2) 種目別大会(場所・期日は未定) グラウンドゴルフ他40種目  
 大会活性化のための取り組み(トップ選手との交流、初心者向けの体験会等(約10種目団体))

(3) ニュースポーツ体験広場・協賛大会  
 開 催 地： 開催希望市町および総合型地域スポーツクラブの設立されている地域  
 主管団体： 市町スポーツ担当および総合型地域スポーツクラブ(13クラブ)  
 実施種目： ニュースポーツ体験、親子スポーツフェスティバルなど

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興	<b>評価</b>	A			
<b>課題</b>	生涯スポーツ活動の推進					
	<b>指標</b>	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)		<b>単位</b>	人	
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成2年度	平成3年度
	500,000	372,240	396,776	419,820	424,295	431,607
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>事業費</b>	予算	10,000	10,000	10,000	8,000	8,000
	決算	9,774	9,511	9,244	2,148	5,139
一般	予算	7,591	7,591	7,591	5,795	5,795
財源	決算	7,377	7,573	7,529	1,618	4,245
<b>事業費累計</b>		236,506	246,017	255,261	257,409	262,548
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	A	令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けて延期や中止になる種目別大会が多数あった一方で、感染症対策を行いながら実施する大会も令和2年度より増加し、大会参加者数は回復した。コロナ禍で思うようにスポーツが出来ない中、気軽に参加できる大会は、県民が生涯スポーツに親しむ上で有効であると考えられる。  <交流大会参加人数> R3:7,312人 R2:4,475人(R1までの4年間は毎年2万人超)				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	コロナ禍以前の大会規模に戻るよう大会広報を行い、県民がいつでも気軽に参加出来る大会の運営に努める。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわスポーツマイレージ事業費	<b>事業開始年度</b>	H30	<b>事業終了予定年度</b>	
		<b>根拠法令・計画等</b>	第2期 石川の教育振興基本計画		

<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課
<b>成 職・氏名</b>	主事 増井 しほ
<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4377

**事業の背景・目的**  
 県民のスポーツに親しむきっかけづくりや継続して運動に取り組む習慣づくりを促進するため、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの活動をポイント化し、多様なスポーツ活動をサポート支援する。

**事業の概要**  
 1 内容  
 (1)スマートフォンアプリの運用  
 ウォーキング等のスポーツを「する」ことのみならず、観戦等のスポーツを「みる」ことやボランティア等のスポーツを「ささえる」こともポイント化するスマートフォンアプリ「いしかわスポーツマイレージ」(平成30年度に開発し、平成31年3月から配信開始。)を運用し、貯まったポイントを利用して特典を得られる抽選を実施する。

**主な機能・利用方法**

- ・スマートフォンの歩数計機能を活用し、計測した歩数をポイント化する
- ・スポーツの大会、イベント会場に設置されたQRコードを読み取ることでポイント付与
- ・貯めたポイントを使って、抽選を実施
- ・アプリのGPS機能を使った試合観戦によるキャンペーンの実施(通年)

**協賛企業について**  
 飲料メーカー、食品メーカー、スーパーマーケット、ドラッグストアなどが協賛企業(15企業・団体)となり、景品の提供や広報について協力いただいている。

(2)スマートフォンアプリの機能強化

- ・「いしかわまるごとウォークチャレンジ」の実装  
 スマートフォンのGPS機能を利用して、実在するウォーキングコースとチェックポイントを地図上に表示し、チェックインしながら歩いてもらう機能。
- ・「いしかわまるごとウォークチャレンジ」を使ったイベント  
 「いしかわまるごとウォークチャレンジ」に設定されたコースの達成数に応じてポイントを獲得できるイベントを秋頃に開催する。

施策・課題の状況					
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興	<b>評価</b>	A		
<b>課題</b>	生涯スポーツ活動の推進				
	<b>指標</b>		<b>単位</b>		
	アプリのダウンロード数		件		
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>			
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	20,000	5,362	13,197	17,159	21,109
事業費					
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<b>事業費</b>	予算	8,000	3,000	5,500	8,000
	決算	8,305	2,800	4,906	6,610
<b>一般財源</b>	予算	8,000	3,000	5,500	8,000
	決算	8,305	2,800	4,906	6,610
<b>事業費累計</b>		0	8,305	11,105	16,011
	22,621				
評価					
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	アプリのダウンロード数は、累計2万件を超え、多くの県民に利用されている。利用者からは「運動継続のモチベーションになる」、「これからも歩数を意識して歩きたい」などの反響があり、運動の継続に効果があると考えられる。 令和3年度より実装した「いしかわまるごとウォークチャレンジ」では、県内各市町に1つずつコースを設定しており、「県内各地を巡って面白い」、「普段歩いている道を違う視点で見られて新鮮」といった感想があるほか、既存のユーザーが友人や家族を誘って参加する例もあり、新規の登録者増にもつながった。			
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	令和4年度も引き続き利用者が楽しめるようにアプリを運用し、運動開始のきっかけづくりや継続を促す取組みを行う。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわトップスポーツチーム	<b>事業開始年度</b>	H30	<b>事業終了予定年度</b>	
	地域貢献協働推進事業費	<b>根拠法令 ・計画等</b>	第2期 石川の教育振興基本計画		
		<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課		
		<b>成 職・氏名</b>	主事 増井 しほ		
		<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4377		

**事業の背景・目的**  
 スポーツ振興を核とする包括的連携協定を締結した県内トップスポーツチーム(7チーム)と連携して、親子向けイベントの開催やスポーツ教室等を行うことで、県民全体のスポーツに対する応援気運を醸成し、スポーツの裾野拡大や競技力向上を図る。

○協定締結先  
 ツェーゲン金沢(サッカー)、石川ミリオンスターズ(野球)、金沢武士団(バスケットボール)、北國銀行ハンドボール部Honey Bee、PFUブルーキャッツ(バレーボール)、金沢学院クラブ(バドミントン)、ヴァインセドール白山(フットサル)

○連携内容  
 (1) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催  
 (2) 国体等に向けた競技力の向上のための練習会等の開催  
 (3) 試合や地域貢献活動に関する広報等の実施による県民をあげた応援気運の醸成  
 (4) 首都圏など大都市圏等から石川県への観光誘客に効果的なPRの実施  
 (5) その他、石川県政の施策、事業との連携など

**事業概要**  
 (1) スポーツチームとの交流イベント(いしかわスポーツキッズフェスタ)の開催  
 実施主体 実行委員会  
 内 容 親子を対象としたスポーツの体験・チームとの交流イベント

(2) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催  
 実施主体 各チーム  
 内 容 小中学生対象のスポーツ教室や職業講話  
 スポーツクラブ等対象の教室

(3) 国体等に向けた競技力向上支援  
 実施主体 各チーム  
 内 容 指導者対象講習会開催、選手との合同練習

施策・課題の状況					
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興	<b>評価</b>	A		
<b>課題</b>	生涯スポーツ活動の推進				
	<b>指標</b>	交流イベント参加者		<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>			
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	1,000	3,500	1,000	1,200	中止

事業費						
(単位:千円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>事業費</b>	予算	9,000	8,000	10,200	6,000	
	決算	6,725	7,666	6,795	4,778	
<b>一般財源</b>	予算	9,000	8,000	10,200	6,000	
	決算	6,725	7,666	6,975	4,778	
<b>事業費累計</b>		0	6,725	14,391	21,186	25,964

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	7月に実施を予定していた「いしかわスポーツキッズフェスタ2021」が新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置の発令に伴い中止となった一方、スポーツ教室や職業講話を小学校35校、中学校4校に加え、特別支援学校1校で開催した。交流イベントは中止になったものの、定員800名に対して約2,500名の参加申込があり定員を大幅に超えたことから、県民からの関心は高いことが伺え、交流イベントやスポーツ教室がスポーツの裾野拡大を促進するとともに、県内トップスポーツチームの地域貢献活動の一助にもなった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	交流イベント・スポーツ教室とともに、アンケートなどの参加者の声を基に、より良いものになるよう企画内容を工夫して実施する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	選手強化事業費	事業開始年度	S38	事業終了予定年度		<b>作</b>	組	スポーツ振興課		
		<b>根拠法令・計画等</b>	石川県スポーツ推進計画2021				<b>成</b>	職・氏名	課長補佐 元尾 武彦	
						<b>者</b>	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4379		

**事業の背景・目的**  
 国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。一昨年度の「茨城国体」での天皇杯得点順位35位や、昨年度の各競技団体の活動状況を踏まえ、短・中期的な計画のもと、更なる上位入賞、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。

**事業の概要**

1 選手強化事業  
 国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(1) 基礎強化 対象者 成年:41競技799人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)  
 少年:38競技691人(監督・コーチ・強化選手)  
 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等

(2) 重点強化 対象者 過去2回(73,74回)の国体で実績ある競技団体  
 北信越大会で実績のある競技団体  
 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(3) 特別強化 対象者 北信越大会でふるさと選手を活用して優勝した競技団体(成年)  
 北信越大会を突破した競技団体(1位突破した競技団体に重点配分)  
 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

2 ジュニア選手育成事業  
 将来、国民体育大会および全国大会等において優秀な成績を収めるために、全国大会で実績を挙げている競技団体を指定し、有望な小・中学生を育成・強化する。  
 対象： 中央競技団体主催の小・中学生全国大会で、好成績を収めた競技団体を指定(指定16競技団体)  
 水泳、ボート、カヌー、ボウリング、陸上、体操、レスリング、ウエイトリフティング  
 ハンドボール、ソフトテニス、卓球、相撲、柔道、バドミントン、ライフル射撃  
 トライアスロン

3 体育団体組織強化事業  
 国体で実施される正式競技以外の競技団体に補助金を助成し、組織及び選手強化を図る。  
 対象：15団体  
 綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、  
 パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、  
 マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、バウンドテニス協会、  
 ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化				<b>評価</b>	-
<b>課題</b>	競技力向上対策					
	<b>指標</b>	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)			<b>単位</b>	順位
	<b>目標値</b>	現状値				
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	20位台以内	28	23	35	中止	中止
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>事業費</b>	予算	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	192,750	192,900	191,713	141,825	149,965
<b>一般</b>	予算	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	192,750	192,900	191,713	141,825	149,965
<b>事業費累計</b>		6,942,087	7,134,987	7,326,700	7,468,525	7,618,490
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一部の北信越国体と三重国体が中止となった。三重国体の中止決定(R3.8.26)以後は令和4年度の栃木国体に向けて強化に取り組んだ。 なお、R1以前の過去10年間は7度20位台以内を確保しており、県体協や競技団体と連携して、本県スポーツの競技力の向上に向けた選手強化が図られている。				
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	競技スポーツの国際大会や国内大会における選手の活躍は、県民に誇りと喜び、夢と大きな感動や勇気を与えるとともに、県民のスポーツへの関心を高め、本県スポーツの振興につながるものである。 各県の競技力を競う国体においては、過去の実績や選手の現状分析に基づき、メリハリのある強化費を配分し、各競技団体と連携して競技力の向上を図り、R4栃木国体では目標の20位台を目指す。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 高校生強化事業費	<b>事業開始年度</b> H4	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> スポーツ振興課
	<b>根拠法令・計画等</b> 石川県スポーツ推進計画2021		<b>成 職・氏名</b> 専門員 西村 剛
			<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1392 内線 4380

**事業の背景・目的**  
 全国高体連が主催又は共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

**事業の概要**

1 指定期間  
 令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 指定方法  
 県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県民文化スポーツ部で審査の上、県民文化スポーツ部長が指定

3 指定基準及び指定数

**【強化指定事業】**

<団 体>

A指定 (11校13競技14運動部)  
 令和元年度、令和2年度のいずれかで、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること

B指定 (13校13競技16運動部)  
 令和元年度、令和2年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること

C指定 (4校4競技4運動部)  
 令和3年度の北信越高校体育大会で優勝の実績があること

<個 人>

A指定 (5校4競技7運動部)  
 令和元年度、令和2年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、令和3年度に当該校に在籍していること

B指定 (5校4競技5運動部)  
 令和元年度、令和2年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、令和3年度に当該校に在籍していること

< 駅伝強化 >  
 令和3年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること

**【重点強化事業】** (7校6競技10運動部)  
 別途指定した競技の中から、県民文化スポーツ部と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定

**【全国総体特別強化】**  
 令和3年度全国高等学校総合体育大会において、本県で開催されるバレーボール競技、ソフトテニス競技、剣道競技、なぎなた競技の強化を図るため、県高体連該当専門部が、有力チーム、有力選手を指定し、県外合宿等を実施

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化				<b>評価</b>	-	
<b>課題</b>	競技力向上対策						
<b>指標</b>	全国中学校体育大会、国体(少年種別)、全国高校総体における入賞数					<b>単位</b>	チーム、人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>						
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	100	79	97	94	中止	82	

事業費						
<b>(単位:千円)</b>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>事業費</b>	予算	20,000	20,000	20,800	22,200	20,900
	決算	20,000	20,000	20,800	19,870	18,636
<b>一般財源</b>	予算	20,000	20,000	20,800	22,200	20,900
	決算	20,000	20,000	20,800	19,870	18,636
<b>事業費累計</b>		630,000	650,000	670,800	690,670	709,306

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	コロナ禍における部活動の制限がある中で、各運動部においては、感染対策の徹底を図り、工夫して強化活動に取り組んでおり、R3全国高校総体、R3全国高校選抜大会における団体及び個人入賞数が増加した。  ・全国高校総体における入賞数の増加 団体 R1: 6 → R3: 10 ※R2: 中止 個人 R1: 33 → R3: 40 ※R2: 中止  ・全国高校選抜大会における入賞数の増加 団体 R2: 7 → R3: 10 個人 R2: 21 → R3: 25
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	全国大会で実績を挙げている運動部を重点的に強化することは、部活動の活性化はもとより、国体少年種別の強化につながることも、指定した運動部が、選手育成の拠点へと発展し、継続して優秀な選手の育成を図ることができる。  <b>【R4強化指定校】</b> 23校26競技45運動部  <b>【R4重点強化指定】</b> 8競技9運動部25名

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	中学生強化事業費	<b>事業開始年度</b>	H5	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川県スポーツ推進計画2021	<b>成 職・氏名</b>	専門員 高田 哲洋	<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4381

**事業の背景・目的**  
 全国中学生大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手・成年の部選手として活躍できるように、計画的に育成・強化し、競技力の向上を図る。

**事業の概要**

1 強化事業

(1) 実施競技  
 県中学校体育連盟に加盟の18競技  
 陸上、水泳、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、軟式野球、体操、新体操、バレーボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、柔道、剣道、相撲、スキー、弓道

(2) 対象  
 県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者

(3) 内容  
 県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費  
 県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

2 重点強化事業

(1) 実施競技  
 重点強化競技に指定した5競技(相撲、水泳(飛込)、ハンドボール、柔道、スキー)

(2) 対象  
 将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待できる選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者

(3) 内容  
 科学トレーニングの活用および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費  
 科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	—
課題	競技力向上対策					
	指標	全国中学校体育大会、国体(少年種別)、全国高校総体における入賞数			単位	入賞数
	目標値	現状値				
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	100	79	97	94	中止	82
北信越大会	目標	34	34	34	34	34
優勝数	実績	24	26	29	中止	24
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	決算	7,500	7,500	7,500	5,065	5,492
一般財源	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	決算	7,500	7,500	7,500	5,065	5,492
事業費累計		158,134	165,634	173,134	178,199	183,691
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	コロナ禍の中、部活動の活動制限により、練習試合や合宿が行えなかったが、感染防止策を講じながら北信越中学校総合競技大会及び全国中学校体育大会に向け工夫して強化に取り組んだ結果、北信越大会での優勝数は目標を下回ったが、全国中学校体育大会では過去10年で最多である31の入賞数を果たすなど、競技力向上には一定の効果があった。			
	今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	中学生の強化は、本県における各競技団体の競技力の底上げとなる。また、国体において中学3年生が参加できる競技が半分程度あり、チーム石川の競技力向上のためにも本事業の継続が必要である。 引き続き県中体連と連携し、将来の少年種別の選手育成も見据え中学生の育成・強化を図る。 特にR4年度は、全国大会で活躍が期待される相撲、水泳、スキー、陸上競技、バスケットボールの5競技を重点的に強化する。			



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	科学的トレーニング特別強化事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ振興課	
		根拠法令 ・計画等	石川県スポーツ推進計画2021			成 職・氏名	専門員 高田 哲洋	
							者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4381

**事業の背景・目的**  
国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

**事業の概要**

- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手80名
- 2 内容
  - (1) 基礎体力測定・専門測定を年2回実施し、トレーニング処方を作成。トレーニング処方に基づいた、実践指導やコントロールテストを適宜実施。
    - ①基礎体力測定
    - ②専門測定・分析
    - ③トレーニング処方作成・提示
    - ④トレーニング実践指導
    - ⑤コントロールテスト
  - (2) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導(年3～4回)
    - ①強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりやスポーツマッサージの指導
    - ②健康管理及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導
  - (3) 講師招聘による研修会(年2回)
  - (4) 国立スポーツ科学センターとの連携(適宜)
- 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	-
課題	競技力向上対策						
	指標	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)				単位	順位
	目標値	現状値					
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
	20位台以内	28	23	35	中止	中止	
事業費							
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	2,500	2,000	2,000	2,000	2,000	
	決算	2,500	2,000	2,000	1,770	2,000	
一般 財源	予算	2,500	2,000	2,000	2,000	2,000	
	決算	2,500	2,000	2,000	1,770	2,000	
事業費累計		26,740	28,740	30,740	32,510	34,510	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	令和3年度はコロナウイルス感染拡大に伴い三重国体は中止となったが、本事業の指定選手が各種大会等で実績をあげており、本事業が競技力の向上に大きく寄与している。 主な実績 ・ハンドボール: 全日本選手権 優勝、日本リーグ 優勝 ・バレーボール: 全日本選手権 3位 ・ウェイトリフティング: 全国高校総体 優勝 ・水泳(飛込): 全国高校総体 優勝 ・ボート: 全日本学生選手権 優勝 ・東京オリンピック代表選手: ハンドボール 5名					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	コロナ禍で様々な制約がある中、効率的なトレーニングでさらなる競技力の向上を図るため、競技の特性を踏まえ、科学的根拠に基づいた専門家のトレーニング指導が必要である。 また、現場で活かせる研修会も競技団体から好評を得ており、今後も競技団体のニーズに合わせた研修会を行い、指導者の指導力や選手の競技力の向上を図る。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわジュニアアスリート発掘事業費	事業開始年度 H30	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 石川県スポーツ推進計画2021	

作組	織	スポーツ振興課
成職	氏名	専門員 西村 剛
者電	話番	号 076 - 225 - 1392 内線 4380

**事業の背景・目的**  
最新機器を活用した運動能力測定会や、各競技団体によるスポーツ見本市(簡易スポーツ体験会)を開催し、子どもたちが自分の可能性に気づき、未来のアスリートとして成長するきっかけを作ること、本県スポーツの裾野の拡大と競技力の向上につなげる。

- 事業の概要**
- 1 対象 県内小学生1年生から6年生
  - 2 内容
    - (1) 運動能力測定会
      - ・最新機器を活用して6種目の運動能力を測定し、64種目の中から自分の適性に合った10種目のスポーツを提示
      - ・専門スタッフによる、個々に応じたトレーニングのアドバイス
    - (2) スポーツ見本市
      - ・県内競技団体が実施する簡易スポーツ体験コーナー。興味・関心のあるスポーツや測定データから自分に合ったスポーツを自由に体験する。
- 会場 いしかわ総合スポーツセンター、七尾市城山体育館
- (3) スポーツ体験教室
    - ・県内競技団体が実施する体験教室。
- 柔道、ライフル射撃、水泳(飛込)、ウエイトリフティング、レスリング、アイスホッケー
- 会場 各競技団体の拠点場所

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化	評価	-			
課題	競技力向上対策					
	指標	運動能力測定会参加人数	単位	人		
	目標値	現状値				
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	600		320	605	294	295

事業費					
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	3,000	2,400	2,400	2,400
	決算	2,345	2,085	3,608	2,953
一般	予算	3,000	2,400	2,400	2,400
財源	決算	2,345	2,085	3,608	2,953
事業費累計		2,345	4,430	8,038	10,991

評価	
項目	評価
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	<p style="text-align: center;">B</p> <p>左記の評価の理由</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様、一部規模を縮小して実施し、運動能力測定会には、295名(R2:294名)の児童が参加した。</p> <p>また、スポーツ見本市を実施し、約640名(R2:中止)の児童が参加した。運動能力測定会やスポーツ見本市を通して、児童が自分の適性を知ることができ、様々なスポーツに興味を抱くことにつながっている。</p> <p>・運動能力測定会 参加人数 R3:金沢 191名(R2:金沢186名) R3:七尾 104名(R2:七尾108名)</p> <p>・スポーツ見本市 金沢会場(5競技)バレーボール、ホッケー、ウエイトリフティング、フェンシング、ボクシング 七尾会場(2競技)レスリング、ホッケー</p> <p>・スポーツ体験教室実施状況 R3:6競技 (R2:7競技) 柔道、ライフル射撃、水泳(飛込)、ウエイトリフティング、レスリング、アイスホッケー</p>

今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>運動能力測定会、スポーツ見本市の参加児童への事後アンケートでは、約9割の児童が「楽しかった」と回答しており、子どもたちからは、「いろいろなスポーツに挑戦できて良かった。」「体験したスポーツを習ってみたい。」、また、保護者からは、「データで得意、不得意を示していただき、説得力があった。」等、高評価を得ている。今後も競技団体と連携して、様々なスポーツを体験できる機会を一体的に開催することにより、本県スポーツの裾野の拡大と競技力向上を図る。</p>
--	--

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> いしかわアスリートキャリアサポート事業費	<b>事業開始年度</b> H30	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> スポーツ振興課 <b>成 職・氏名</b> 専門員 西村 剛 <b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1392 内線 4380
	<b>根拠法令・計画等</b>	石川県スポーツ推進計画2021	

**1 事業の目的**  
有望なアスリートと競技の継続をサポートする県内企業のマッチングを支援することで、本県のスポーツの競技力向上とアスリートの県内就職を促進する。

**2 対 象**  
**(1) 選 手**  
・国体実施競技の競技団体から推薦を受けた者  
・石川県内での就職を希望する者  
・国体出場レベルの競技力を有し、就職後も競技を継続する意思を有する者  
・大学生及び社会人(石川県出身者に限らない)

**(2) 企 業**  
県内に本社または事業所を有し、全国大会等で活躍が期待される選手を採用する意志があり、競技活動への理解と協力(※)ができる企業とする。  
※・平日に練習がある日は残業をさせない。  
・休日に遠征があり、仕事が入っている場合は勤務のシフトを変更する。  
・国体等の大会に長期間出場する場合は、優先的に有給休暇をとれるようにする。

**3 事業内容**  
**(1) 協力企業のリストアップ**  
**(2) 県内就職を希望する選手のリストアップ**  
**(3) スポーツ振興課や行政経営課のHPで企業情報の提供**  
**(4) 競技団体・選手との相談**  
**(5) 就職試験に係る交通費の補助**  
**(6) いしかわ就職フェアへの参加**

施策・課題の状況					
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化	<b>評価</b>	-		
<b>課題</b>	競技力向上対策				
	<b>指標</b>	県内企業へのアスリートの就職者数		<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>			
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	10	5	5	5	4
<b>事業費</b>					
(単位:千円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<b>事業費</b>	予算	500	800	640	480
	決算	30	10	137	40
<b>一般財源</b>	予算	500	800	640	480
	決算	30	10	137	40
<b>事業費累計</b>		30	40	177	217
<b>評価</b>					
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	いしかわ就職フェアへの参加促進やアスリートの採用に関心のある企業情報の提供、個別対応により、令和3年度における対象者27名のうち4名が県内企業へ就職。 実際に採用した企業からは、「慣れない仕事であるが、資格取得等、真面目に取り組んでおり、競技活動においても、可能な範囲でサポートしていきたい。」等の声が聞かれ、評価を得ている。 協力企業数(R2:66社→R3:65社)			
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	アスリートを採用した企業の高評価を他の企業に伝え、魅力ある企業の更なる発掘を図りながら、企業情報、いしかわ就職フェア等のイベント情報を広く発信していく。 また、行政経営課の「いしかわ民間タイアップ事業」と連携し、本事業の更なる活用、拡大を図る。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 障害者アスリート支援事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	石川県スポーツ推進計画2021		
				作 組 織 : スポーツ振興課 成 職・氏名 : 専門員 高田 哲洋 者 電話番号 : 076 - 225 - 1392 内線 4381

**事業の背景・目的**  
 障害者アスリートに対し、国際大会及び国内大会に出場するために必要な費用や、中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援することにより、選手の競技力の向上を図ることを目的とする。

**事業の概要**

1 内 容

(1) 国際大会や全国大会に出場するために必要な費用を支援  
 (2) 中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援  
 (3) (1)と(2)に要する交通費、宿泊費、参加負担金、競技用具運搬費、保険料の補助

2 対 象

次の(1)～(3)すべてに該当する選手及びその介助者(1名まで)

(1) 石川県出身者(石川県内の小学校、中学校又は高等学校の卒業生)または、現在、石川県内に住所あるいは所属を有する者  
 (2) 石川県障害者スポーツ協会から推薦を受けた者  
 (3) 過去5年間に国際大会か全国大会で入賞したことがある、または、当該年度に中央競技団体が指定する日本代表選手若しくは強化選手であり、今後も活躍が期待できる者

3 補助金額

(1) 国際大会  
 対象者が支払った対象経費の合計額(1大会あたり上限は10万円)  
 (2) 全国大会  
 対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1大会あたり上限は10万円)  
 (3) 中央競技団体が実施する強化練習・合宿  
 対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1回あたり上限は10万円)

※(3)は中央競技団体から日本代表選手として指定されている選手のみ

これまでの見直し状況  
 令和3年度から支援対象者に県内に所属を有するアスリートを追加。

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	—
課題	競技力向上対策						
	指標	障害者アスリート支援に係る補助申請件数			単位	件	
	目標値	現状値					
	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
	20	8	12	25	7	2	
事業費							
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	1,100	1,070	2,000	2,000	2,000	
	決算	709	336	604	36	46	
一般財源	予算	1,100	1,070	2,000	2,000	2,000	
	決算	709	336	604	36	46	
事業費累計		709	1,045	1,649	1,685	1,731	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、多くの大会や強化合宿が中止となり、本制度の活用数は例年より大幅に減少したものの、本制度を活用した選手、チームは東京パラリンピックでのメダル獲得をはじめとして大会で好成績を収めており、選手の競技力の向上につながっている。  ・ボッチャ:東京パラリンピック 2位 日本選手権大会 6位 ボッチャ甲子園:4位					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	東京パラリンピックを機に、県内の障害者スポーツに注目が集まっており、トップを目指す次世代のアスリートが練習に励んでいる。 今後も、県障害者スポーツ協会や関係競技団体と連携し、高みを目指す障害者アスリートを後押しする。					